



公益社団法人

日本語教育学会

2021 年度第 4 回支部集会【東北支部】開催報告 「東北の地域特性をふまえたオンラインの可能性」

主催：公益社団法人日本語教育学会

開催日：2021 年 12 月 11 日（土）10：00-12：10

会場：オンライン（Zoom）

参加人数：62 名（会員 38 名・一般 24 名）

2021 年度東北支部集会が 12 月 11 日（土）にオンラインにて開催されました。支部集会では初となる、午前のみで開催でしたが、東北地区のみならず、全国から会員、非会員の皆さま 62 名にお集まりいただきました。当日の欠席者は 1 名のみという驚異的な参加率で、参加者の皆さんの関心の高さがうかがえる会となりました。

第 1 部では、「東北の地域特性をふまえたオンラインの可能性」というテーマで 3 つの話題提供があり、その後、対話のひろばとして、話題提供者や参加者間で自由に情報交換や意見交換を行う時間を持ちました。話題提供では、まず、平田友香さん・宮淑さん・古田梨乃さんの 3 名から、講師として運営に関わっていらっしゃる秋田市日本語教室のオンライン化の取り組みについて、実践者の視点からお話いただきました。続いて、松岡洋子さんより、外国人散在地域である岩手県のコンテクストを踏まえた日本語教育オンライン教材についてのご紹介がありました。最後に、高橋亜紀子さんからは、外国につながる子どもをオンラインで支援する取り組みについて、その経緯や課題についてのお話がありました。対話のひろばでは、ブレイクアウトルームで小グループに分かれての活動となりましたが、参加者の皆さんが、それぞれの現場で抱えるオンラインでの授業や活動運営における課題や工夫などについて、熱心にグループ内で情報共有や意見交換をしている様子が伝わってきました。お互いの実践から学び合う、とても有意義な時間となったと思います。一方で、もっと話したかったという声もあり、今後の課題としたいと思います。

第 2 部では、交流ひろばを開催しました。交流ひろばでは、日本語教育実習の実習生が考えるいい授業とはどのようなものかについての発表、OPI 形式の会話コーパスに現れる質問の分析に基づき作成された質問分類表に関する発表の 2 件があり、こちらにも多くの方がご参加くださいました。

事後アンケートでは、多くの方が今回の支部集会に満足したとの回答をしてくださいました。今回が初めての東北支部集会への参加という方、東北支部以外の地域から参加したという方も多く、非常に勉強になったという声も多数寄せられました。また、今後もオンライン開催を続けてほしいという声が多く、オンライン開催により、これまでは物理的な制約があった方たちにもご参加いただけたことを実感しました。まさに今回のテーマとも重なりますが、東北の地域性をふまえたオンラインの可能性を探りながら、東北支部の活動でいかに参加者の皆さんとつながり、またそのつながりを深められる場が提供できるのか、今後も引き続き考えていきたいと思えます。

最後になりましたが、この場を借りて、本支部集会にご参加くださった皆様、そしてご協力くださった関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

（報告者：支部活動委員：嶋ちはる・菊池哲佳・島崎薫）